

大正十年二月一日、創立ニ係リ事務所ニ遷海
郡川谷新ニ置キ同業者相互ノ意思ノ疎通ヲ圖
リ圓滿ニ業務ニ從事シ得ル事ヲ望ミ、造リ會員
中不時四散者ニ後助ニ當リ、利益者ヲ福ヲ圖ルヲ
目的トシ、會員三河、鐵道沿線驛仲仕四十五名
(毎月會費會員各自ノ收入ノ内ニ對シ、
主幹者一人、三月十五元、三月末見込) 主幹者ハ神谷
繁太郎、支部分會ナシ

(愛知縣)

(三) 大日本機關車乘務員會沼津支部、解散

二月八日轉勤ヲ命ゼラレタル西川保外三名九日
支部事務所(山田屋旅館)ニ臨時支部總會
ヲ開キ轉勤ノ不當ヲ當局ニ詰問セントセシメ會

員身命セズ大流會トナリタルヨリ西川等躍起ト
ナリ機關庫ニ山口主任ヲ請ヒ轉勤事由ヲ質シタ
ルモ同主任ハ相手ニセズ支部員中ノ多クハ同時ノ
經過ニ伴ヒ冷靜ニ歸シ且ツ家変ニ於テハ勸告其
他首魁者ノ懲戒的轉免等當局ノ英斷ニ恐怖
シ九月末脱會ヲ申込ムモ、多ク西川等ノ後繼者
トシテ幹部ノ位置ニ立テル市川条次郎、一杉条作
尾脇國作、三名ハ鐵道當局ノ態度ニ恐怖シ
タルモノ、如ク全十三日駿東郡原所長植松保作
ニ哀願シ山口主任ニ謝罪シ全日午後三時ヨリ支
部事務所ニ臨時協議會ヲ開キ乘務員會
脱會及支部解散等ニ関シ、協議ノ結果、一同
脱會シテ支部、解散ヲ決議シ翌十三日本部